

# 挑戦14度目 念願の最高位

暗算検定試験で最高位の10段に合格した佐々木君



【月形】町内在住で、岩見沢東高2年の佐々木雄大君(17)が全国珠算教育連盟主催の暗算検定試験で、最高位の10段を取得した。挑戦14度目の合格。「最高位を獲得できて一区切りが付いた」と喜んでいる。

(鹿内朗代)

# 佐々木君（岩見沢）が暗算10段

## 1日360問 自主勉強 「集中力身についた」

試験は、年6回開催され、試験を受け、8月に合定試験を受けた。岩見沢市や月形町などが加盟する岩見沢地区では、社会人も含め、初の合格者だ。佐々木君は母親の薦めで、小学校入学前から月

合には各種目38問以上の正答が必要だ。試験には、年6回開催されている。佐々木君は今年7月に岩見沢市内で検定試験を受け、8月に合格の連絡を受けた。岩見

229」や「0・022×110・34」といった掛け算をはじめ、割り算、足し算と引き算が混ざった見取り暗算の計3種目。各40問で、それぞれ3分以内に解く。10段

試験は「9045×3

形町内のそろばん教室「月形速算塾」に週3回通い始めた。中学校では卓球部に入り、塾に通う回数は減ったが、「検定前の詰め込み」で2年のときに暗算9段に合格した。

高校入学後は塾に通わず、試験1週間前から1日360問を集中的に解く自主勉強を続け、10段の試験を受けてきた。ただ、壁は厚く、13回連續で失敗した。今回、念願の合格に「中途半端に終わりたくない」という気持ちでやってきた。身につけた集中力は卓球にも生きると思う」と話している。